



門利2
號465
卷2

ホ2
4385
2

日本小文典卷之下

明治元年八月六日
中根淑著ス

藏書

東洋
文庫

利
2

動詞

動詞ハ、働キラナス言葉ニシテ、即視ル・聴ク・喜
往ク・来ル・取ル・遣ル等ノ如キ類ヲ云フ、凡
テモ、文章ニテモ、此ノ動詞ト云フ者ナキ
其ノ意味通ゼザル故、言葉ノ中ニ於キテ、至
リテ肝要ナル者ナリ、
動詞ノ中、種類甚多シ、即單用動詞・重用動詞・自動
詞・他動詞・順動詞・逆動詞・規則動詞・不規則動詞及

日本小文典
卷之下

忠
賞

單用動詞

重用動詞

ビ助動詞分詞等ノ差別アリ、

○單用動詞トハ、初メニ擧ゲタル視ル聽クノ如ク、唯一言ニテ、其ノ働キヲ言ヒ盡クス者ヲ云フ、即花ヲ視ル話シヲ聽クト云ヘバ、唯一言ニテ、其ノ意味全ク盡クルガ如シ、

○重用動詞トハ、動詞ヲ重子テ用フルヲ云フ、即花ヲ視盡クス話シヲ打チ聽クノ如シ、是ハ一ノ動詞ニテハ、其ノ意味ヲ盡サバル故、箇様ニ重子テ用フルナリ、其ノ言葉ノ掛リ方ニ由リテハ、視盡クス勿レ打チ聽ク能ハス、杯ト、三モ四モ、重又

自動詞

他動詞

ル一アリ、且上ノ入ノ言ヲ出ストモ、
○自動詞トハ、其ノ言葉獨自働キラナシテ、外ノ言葉ニ、意味ヲ移サヌ者ヲ云フ、比ヘバ、彼ハ行クト云ヘバ、行クト云フ言葉、彼ノ働キラ顯シタルノミニテ、別ニ外ノ言葉ニハ、移ラザルナリ、
○他動詞トハ、其ノ言葉ノ意味、上ノ幾言ニモ、通ジテ移ル者ヲ云フ、即彼ハ學校ヘ行クト云ヘバ、行クト云フ言葉、彼ヨリ學校ヘ掛ケテ移リ、彼ハ吾ト學校ヘ行クト云ヘバ、彼ヨリ吾ト學校トヘ掛ケテ移ルナリ、此ノ類ノ言葉ヲ他動詞ト云フ、

順動詞
逆動詞

○動詞中我ヨリ働キ掛クル言葉ヲ、順動詞ト云
ヒ、我が受ケ身ニナル言葉ヲ、逆動詞ト云フ、即貞
時又久明親王ヲ廢ス其ノ子守邦王大將軍ニ任
ゼラルト云フ文ノ、廢スト云フ動詞ハ、貞時ガ久
明親王ヘ、働キ掛クル故、順動詞ナリ、任ゼラル
ト云フ動詞ハ、守邦王ガ受ケ身トナリテ、外ヨリ
仕掛ケラル、故、逆動詞ナリ、此ノ差別善ク察
スベシ、
人ヲ尊ム言葉遣ヒ、ハ、逆動詞、ヲ順動詞ニ用フ
ルアリ、目上ノ人ノ言ヒ出スヲ、仰セラル、

規則動
詞

ト云フガ如シ、
○規則動詞トハ、動詞ノ語尾ヲ種々ニ變ズルニ、
定リタル規則アルヲ云フ、是ニ五ノ種類アリ、即
四段一段中二段下二段三段等ノ働キノ差別アリ、
委キ下ハ、下ノ圖ヲ見テ知ルベシ、

四段	飽	働詞ノ働キノ圖	其ノ語尾ヲ、縦
	カキケ		行中ノ四段ニ
	サシスセ		變ズ、一段ノ働
	打ッ		キハ、外ノ段ヘ

日本小文典 卷之下 三

下

キ働ノ段二中

捨^ス瘦^ウ受^ウ得^ル率^キ舊^ク老^ク試^シ戀^コ落^ク

チ	ヒ	ミ	イ	リ	キ	ウ	ウ	ク	ス	ツ
フ	ム	ユ	ル	エ	ケ	セ	テ			

ニテ、是ニ限リ
 タル譯ニハ非
 ス、比ヘバ行ク
 ト云フ言葉モ、
 行カシ行キ行
 ク行ケト四段
 ニ働キ、益スト
 云フ言葉モ、益
 サシ益シ益ス
 益セト四段ニ

四

キ働

キ働ノ段一

起^キ 釣^ツ住^ス逢^フ

ヒ	ミ	リ	射 ^イ	著 ^キ	似 ^ニ	干 ^ニ	見 ^ミ	居 ^キ	キ
ヘ	メ	レ	ム	ル	フ	ハ	マ	ラ	

變ゼズ、中二段
 ノ働キハ、縦行
 中ノ中二段ニ
 變ズ、其ノ餘ノ
 段モ、之ヲ推シ
 テ知ルベシ、
 茲ニ示シタル、
 飽ク押ス等ノ
 言葉ハ、唯例ニ
 擧ゲタルノミ

キ働ノ段二

キ働ノ段三

兼	辨	譽	消	枯	饑	為	約
又	フ	ム	ユ	ル	ウ	シ	
子	ヘ	メ	エ	レ	エ	ス	
						セ	

働クガ如シ、外ノ段ノ言葉モ、皆此ノ通りナリ、三段ノ働キハ、唯一ノ為ノ字ノ變化ト、漢語ノ動詞ノ變化トニ、限ルナリ、元來漢語ニ

不規則動詞

ハ、シ・ス・セ・ラ添ヘザレバ、動詞トナラザル故、之ヲ着ケタル儘、一ノ言葉トスルナリ、或ハ文章ノ模様ニ由リテ、之ヲ略スルモアリ、縦横奮撃之ヲ破ル・ト云フ文ノ奮撃ハ、動詞ナレ共、語尾ヲ略スルガ如シ、約ノ字ハ、漢語ノ例ニ擧ゲタル者ナリ、何レノ段ニテモ、語尾ヲ濁ル言葉ハ、其ノ變化モ、皆濁ルナリ、閉ヂ閉ヅ、續ギ續グ、感ジ感ズ等ノ如シ、

○不規則動詞トハ、總ベテ前ニ擧ゲタル、規則動詞ノ圖ニ當ラズ言葉ヲ云フ、即來ハ來ト中二

段ノ外別ニ来トモ變ズル故不規則動詞ナリ此ノ類ノ言葉ハ外ニハ無キナリ

シヲ語尾ニ持チタル善シ惡シ強シ弱シ高シ低

シ等ノ言葉モ不規則動詞ナリ此ノ言葉ハ必加

縱行ノ變化ヲモスルナリ即善キ善ク惡キ惡ク

等ノ如シ

又シヲ語尾ニ持チタル嬉悲樂苦等ノ言葉モ不

規則動詞ナリ此ノ言葉ハ必別ニ加縱行ノ變化

ヲスルナリ即嬉キ嬉ク悲キ悲ク等ノ如シ

右兩様ノ動詞加縱行杯ノ變化ヲナス中ハ規則

動詞ナリ然レ共シヲ以終ルキハ一種異リタル

形ノ動詞故不規則動詞トスルナリ

○助動詞ハ大抵動詞ノ後ニ添フテ其ノ意味ノ

足ラヌ所ヲ十分ニスル者ナリ比ヘバ流サ流レ

ト云ヒタル計リニテハ其ノ意味未足ラス之ニ

流サシ流レリト助動詞ヲ添フルキハ其ノ意味

全ク足ルナリ此ノ助動詞ニ時ト云フナリ

即過去現在未來ナリ

○過去トハ最早過ギ去リタル時ヲ顯スヲ云フ

之ニ充分ト不充分トノ別チアリ充分過去トハ

助動詞

過去

其ノ時既過ギ去リテ、遠キ前ノトトナリタルヲ云フ、即昔ハ學校鮮クアリシノ如シ、不充分過去トハ、其ノ事前ニ在レ共、全クハ過ギ去ラヌ者ヲ云フ、即近頃数多ノ學校ヲ建テリノ如シ、

現在

○現在ト云フアリ、是ハ其ノ事今僅ニ終ルヲ云フ、現在ト云フアリ、是ハ其ノ事今僅ニ終ルヲ云フ、即余書ヲ讀ミ了リタリノ如シ、其ノ充分ナラザル者ハ、今丁度之ヲ為スヲ云フ、即余書ヲ見ルノ如シ、扱此ノ時ヲ顯ス言葉ハ、何レモ助動詞ヲ假ルナレ共、唯現在ノ動詞ノミハ、之ヲ假ル者ト、

未来

假ラヌ者トアリ、比ヘバ、飽キ、飽ク、飽ケ、約シ、約ス、約セ、ノ如ク、如何程語尾ヲ變化シテモ、意味ニ於キテ充分ナルキハ、別ニ助動詞ヲ用ヒズ、落ツル試ムル、約スルノ如ク、助動詞無クレバ、其ノ意味充分ナラヌハ、之ヲ添フルナリ、其ノ意味○未来トハ、今ヨリ後ノ時ヲ、前以顯スヲ云フ、是ニモ充分ト不充分ト別チアリ、充分未来トハ、其ノ事全ク後ニ在リテ、他ノ時ニ関ラヌ者ヲ云フ、即余ハ明日讀マンノ如シ、不充分未来トハ、過去ノ事ニテモ、現在ノ事ニテモ、大方是ハ箇様ナ

ラント、推量スルヲ云フ、即彼ハ讀ミタラシ、
シ、

助動詞ノ圖

充分 現在	充分 過去	充分 過去
ケリケル ケレ	キシ	リヌル ヌレ
タラタリ タル タレ	ツツル ツレ	ナリナレ ナレ

助動詞ヲ重子タル、ナリケリタリ
シノ類ハ、上ノ言
葉ハ、其ノ事柄ノ
時ヲ示シ、下ノ言
葉ハ、之ヲ語ル時
ヲ示スナリ、例ハ
行キタリシト

不成助動詞

現在	充分 未來 不充分 未來
ルレ ラクツ	ナシ タラン ツラン

ヒタルナリ、其ノ外ノ言葉モ、皆此ノ例ナリ、
○前ニ舉ゲタル助動詞ノ外、別ニ不成助動詞ト
云フ者アリ、是ハ前ノ事ヲ打チ消シテ、成シ遂ゲ
又様ニスル言葉ニシテ、現在ト未來トノ時ヲ顯
セリ、即見ズ見ジノ如シ、若過去ヲ顯サントスル

云フハ、行キタリ
ガ充分現在ナリ、
其ノ行キタリヲ
語ルニ付キテ、充
分過去ノシヲ用

片ハ、前ニ舉ゲタル過去ノ助動詞ヲ添ヘテ、之ヲ示スナリ、即見ガリシノ如シ、

普通助動詞

不成助動詞ノ圖



持ツ故、別ニ語尾ニシテ
 變化ヲナスナリ、
 マシ、ト、加縦行ノ

○助動詞及ビ不成助動詞ノ外、別ニ普通助動詞ト云フアリ、即吾人カ見ルヤ見ザルヤ童ヨ學ベヨ樂キカナ等ノカヤヨカナノ如キ

半助動詞

助動詞ノ法

是ナリ、凡助動詞ハ、皆一ノ時ヲ持チタル者ナレ共、是ハ上ノ言葉ノ時ニ随ヒ、三時ニ通ジテ用フルナリ、比ヘバ見シカト云ヘバ過去、見ルカト云ヘバ現在、見シカト云ヘバ、未來ナルガ如シ

○動詞ノ形ヲ具ヘタル言葉ニテ、助動詞ノ如ク外ノ言葉ノ後ニ就キテ、其ノ意味ヲ助ケ成ヌ者アリ、之ヲ半助動詞ト云フ、即視ル可シ、聽キ得ル言ヒ能フ、動カ使ム等ノ類ナリ、

○動詞ニハ、法ト云フ者アリ、是ハ過去現在未來ニ拘ラズ、其ノ言葉ノ屬スベキ、定リアルヲ云フ

日本書紀 卷之六

比へバ、余行クト云へバ、直ニ自分ノ行クトヲ顯シ、君行ケト云へバ、人ヲ勸メテ行カシムルトヲ顯スナリ、今此ノ類ヲ分チテ四法トス、即直説法・不成法・疑問法・命令法等ナリ、

直説法

○直説法ハ、其ノ儘ノ働キヲ顯ス者ナリ、即書ヲ讀メリ、字ヲ習フ、笑ヲ學バン等ノ如シ、

不成法

○不成法ハ、総ベテ其ノ言葉ヲ打テ消ス働キヲ顯ス者ナリ、即書ヲ讀マザリキ、字ヲ學バズ、笑ヲ學バザラン等ノ如シ、其ノ他讀マンヤト云フ反語ハ、不成法ナレ共、讀マザランヤト云フ片ハ、却

リテ讀ムトナル故、不成法ヲ持チタル直説法ナリ、

疑問法

○疑問法ハ、疑ハシキトヲ尋ヌル働キヲ顯ス者ナリ、即讀ムヤ、學バザルヤ等ノ如シ、此ノ學バザルヤノ類ハ、不成法ヲ持チタル疑問法ナリ、

命令法

○命令法ハ、命ズルトヤ、願フトヤ、又ハ戒ムルトヤ、勸キヲ顯ス者ナリ、即讀メ、教ヘラレヨ、勉ムバシ等ノ如シ、又忘レザルバシノ如キハ、不成法ヲ持チタル命令法ト知ルベシ、

分詞

○分詞ハ、動詞ト同形リノ言葉ナリ、唯常ニ名詞

ノ上ニ在リテ之ヲ形容シ、半分ハ動詞ノ如ク、半分ハ形容詞ノ如クナル故、之ヲ分詞ト云フ、比ハバ、働ク時ハ勞ヲ厭ハズト云フ文ノ働クハ、動詞ナレ共時ト云フ名詞ヲ形容スルヲ以見レバ、形容詞ノ状モアルナリ、此ノ類ノ言葉ヲ分詞ト云フナリ、

助動詞ヲ添ヘタル分詞

○分詞ハ、助動詞ヲ添ヘタル儘、名詞ヲ形容スルヲ多シ、即知ラヌ事ハ知リタル人ニ問フヲ恥ヂズノ如シ、

成句分詞

○種々ノ言葉ヲ合ハセラ句トナシ、其ノ句ヲ以

合成動詞

名詞ヲ形容スル者ヲ成句分詞ト云フ、即陸地ノ間ヲ流ル、水ト云フ文ハ、唯流ルト云フ言葉ノミガ水ト云フ名詞ニ掛ルノミナラズ、陸地ノ間ヲト云フ處ヨリ、合ハセテ掛ルナリ、是等ノ類ヲ成句分詞ト云フ、
○動詞ノ上ニ、外ノ言葉ヲ持チタル者モ、熟語トナリタルハ、一ノ動詞ト見做スベシ、比ハバ、氣遣フ直諫ス等ノ氣ハ名詞、直ハ副詞ナレ共、何レモ下ノ動詞ト熟シテ、一語トナリタル者故、合成動詞トスルナリ、

副詞

○副詞ハ、大抵動詞ノ上ニ副フテ、動詞ノ様子ヲ細ニ顯ス者ニシテ、猶名詞ノ上ニ形容詞ヲ添フルガ如キ者ナリ、其ノ言葉ヲ細ニ分ツキハ、六ノ種類ナリ、即作為地位時刻分量決定非否等ナリ、作為トハ、自然ニ為ルヲ、又ハ人ノ為スノ有リ様仕方ヲ云フ、即漸晴ル善ク讀ム何ゾ知ラン等ノ如シ、是ノ何ゾハ、動詞ヲ強ク押ヘテ、及語トス自葉トハ、地位トハ、其ノ場所ヲ云フ、即何レニ往ク此處ニ至ル等ノ如シ、時刻トハ、時ノ早サ遲サヲ

云ス、即何時及ビ徐ニ速ニ等ノ如シ、或ハ地位ノコハ、ソコヲ時刻ニ用フルヲアリ、コハニ於キテソコデ往ク等ノ如シ、分量トハ、大サ小サ多サ寡サヲ云フ、即大ニ喜ブ甚身シ等ノ如シ、決定トハ、物事ヲ慥ニ定ムルヲ云フ、即必為ス誠ニ樂シ等ノ如シ、非否トハ、否ミ嫌フヲ云フ、即否否々々等ノ如シ、

○副詞ハ、形容詞ト似タル者ニテ、唯其ノ語尾ト添フベキ言葉ト異ニス、其ノ類四アリ、第一形ヲ變ゼザル者、第二語尾ニクヲ持ツ者、第三後詞

形ヲ變
ゼザル
副詞

語尾ニ
クヲ持
ツ副詞

ニヲ添
フル副
詞

ノニヲ添フル者、第四動詞ヨリ變ズル者、
 ○形ヲ變ゼザル者トハ、初メヨリ副詞ニ作リタ
 ル言葉又、其ノ儘用フル者ヲ云フ、即各屢唯殆稍
 略頗甚等ノ類ナリ、
 ○語尾ニクヲ持ツ者トハ、即善ク讀ム、惡ク書ク、
 淺ク掘ル、深ク浚フ、樂ク送ル、美ク咲ク等ノ如シ、
 ○後詞ノニヲ添フル者トハ、即惠ニ考フ、暖ニ照
 ラス、柔和ニ言フ等ノ如シ、
 或ハ實ニ以ト云フヲ、實以ト云ヒ、縱横ニ奮撃ス、
 ト云フヲ、縱横奮撃ス、ト云フ如キハ、皆ニヲ略シ

動詞ヨ
リ變ズ
ル副詞

タル者ナリ、
 ○動詞ヨリ變ズル者トハ、其ノ形ハ動詞ト同ケ
 レ共、全ク副詞トシテ用フル者ヲ云フ、即行ク々
 ヲ見ル、至リテ尊シ等ノ如シ、
 右ノ外、最モ多クハ、熟ト等ノ如ク、種々ノ後詞ヲ
 添ヘタル副詞アレ共、縱令之ヲ添ヘザルモ、副詞
 ニ相異ナキ者ナレバ、前ノ名詞ニニヲ添ヘテ、副
 詞トスルトハ異リテ、規則中ニハ非ザルナリ、
 ○凡副詞ニ二ノ差別アリ、之ヲ正用副詞變用副
 詞ト云フ、

正用副詞

○正用副詞トハ、副詞ノ持チ前ノ遣ヒ方ニテ、必
 動詞ノ上ニ添フテ、其ノ動詞ノ働キヲ、細ニ顯ス
 者ナリ、即會遇フ強ク擊ツ等ノ如シ、或ハ二三詞
 ヲ越シテ、上ヨリ動詞ニ添フ者アリ、即深ク此ノ
 理ヲ知ルノ如シ、
 非否ノ言葉ハ、外ノ副詞ト異リテ、動詞ノ上ニ添
 ハザレ共、是亦正用中ノ者トス、
 ○副詞ハ動詞ニ添フヲ以、當然トスレ共、中ニハ
 外ノ言葉ニ添フコトアリ、之ヲ變用副詞ト云フ、即
 僅東ト云フハ、名詞ニ添ヒタル者、正ニ是ト云フ

副詞

成句副詞

合成副詞

ハ代名詞ニ添ヒタル者、大ニ赤キ色ト云フハ、形
 容詞ニ添ヒタル者、正ニ且ト云フハ、接續詞ニ添
 ヒタル者、只正ニト云フハ、重子テ副詞ニ添ヒタ
 ル者ナリ、其ノ外蓋此ヲ謂フナリ、類ハ、蓋ノ字
 下ノ全句ニ掛ル者ニシテ、亦變用副詞ナリ、
 ○一句ノ儘、動詞ニ添フ者ヲ、成句副詞ト云フ、即
 思ヒ寄ラズ逢フノ如キ類ナリ、是ハ思ヒ寄ラズ
 ト云フ、組ミ立テタル言葉ガ、其ノ儘逢フト云フ
 動詞ニ添フコト故、一句ヲ以副詞ト見做スコトナリ、
 ○副詞中、外ノ言葉ト熟シテ用フル者ヲ、合成副

詞ト云フ、即此處其處ノ如キモ、上ノ此其ハ代名
詞、下ノ處ハ名詞ナリ、又心苦ク手輕クノ類モ、上
ノ言葉ハ名詞ナレ共、何レモ合ハセテ一ノ副詞
トスベキナリ、

後詞

○後詞ハ、名詞又ハ他ノ言葉ノ下ニ着キテ、種々
ノ意味ヲ、細ニ顯ス者ナリ、日本ニテハ、話シニテ
モ、文章ニテモ、此ノ後詞ト云フ者無キ中ハ、少モ
其ノ意ヲ通ズル能ハザルナリ、即海トハ兩陸ノ
間ニ分マリタル所ヲ云フトアル文ノトハ、ノニ

單用後詞

ヲノ類皆之ヲ後詞ト云フ、扱此ノ後詞ノ大切ナ
ルヲハ、其ノ使ヒ方、少ニテモ無理ナル所アレバ、
全ク其ノ意味ヲ成サヌ故ナリ、比ヘバ、水ヲ器ニ
入ルト云ヘバ、器ノ中ヘ水ヲ入ル、ト、水ニ器ヲ
入ルト云ヘバ、水ノ中ニ器ヲ入ル、トニテ、唯ニ
トヲトヲ置キ代ヘルノミニテ、其ノ意味全ク反
對スルナリ、今之ガ種類ヲ分チテ二トス、一ヲ單
用後詞ト云ヒ、一ヲ重用後詞ト云フ

○單用後詞トハ、唯一ノ言葉ニテ、其ノ意味ヲ充
分盡クス者ヲ云フ、即ハ、ハニヘトドヲガヨリガ

ナド・ナガラ・ノ・ノ・ミ・ヤ・マ・デ・コ・ソ・テ・デ・モ・ス・ラ・等ノ
類ナリ、

重用後詞

○重用後詞トハ、唯一ノ言葉ノミニテハ、其ノ意味ヲ盡クサヌキ、之ヲ重子テ用フル者ヲ云フ、即
ニハ・ニゾ・ニチ・ニモ・トハ・トグ・トモ・ドモ・ラバ・テハ
デハ・ヨリモ・マデモ・等ノ如シ、其ノ三重子タルハ、ニ
テハ・ニテ・モ・マデニハ・トノミゾ・等ノ如キモ、亦重用
後詞ナリ、

動詞所屬ノ後詞

○以上数多ノ後詞中、バ・ド・テ・テ・ノ・四ハ、動詞ニノミ著ク者ナレバ、之ヲ動詞所屬ノ後詞ト云フ、其

ノ直ニ外ノ言葉ニ著キタルハ、必動詞ヲ略シケル者ナリ、斯ク在リテ、ヲ、斯クテト略スルガ如シ、
○後詞ト普通助動詞トハ、似寄リタル者故、其ノ別チニ迷フ者アラン、然レ其後詞ハ、言葉ノ模様ヲ言ヒ起ス為ノ者、普通助動詞ハ、言葉ヲ結ブ為ノ者ナリ、但シ、ゾ・ノ・ミ・ノ如キハ、稀ニ結ビノ場所ニモ置クコトアレ共、矢張り後詞トスルナリ、
○重用ノ後詞ハ、各其ノ言葉ノ意味ヲ持チタル者ナレ共、稀ニハ・ト・モ・バ・ヤ・ノ如ク、少ク其ノ義理ノ變ルコトモアリ、又助動詞ト合シテ、カハ・ノ如ク、

反語トナル者モアリ、

接續詞

○接續詞ハ、前後ニ在ル種々ノ言葉ヲ、結ビ付ク
ル者ナリ、即ち大ニシテ且明ナル曉星又夕星ト
云フノ類ノ如シ、其ノ言葉、大抵且而則但シ、諸猶
又將等ナリ、

○接續詞ニ、單用重用ノ別チアリ、前ニ舉ゲタル
例ノ如キハ、唯一ノ言葉ヲ用ヒタル者故、單用ナ
リ、且又將又ノ如ク、二ノ言葉ヲ重子テ用ヒタル
者ハ、重用ナリ、

單用接
續詞重
用接續
詞

動詞狀
副詞狀
ノ接續
詞

○及ビ並ビニ、ノ如キ言葉ハ、動詞ノ形ヲ持チタ
ル者故、動詞狀ノ接續詞ナリ、故ニ遂ニノ如キ言
葉ハ、副詞ノ狀ヲ持チタル者故、副詞狀ノ接續詞
ナリ、

合成接
續詞

○而加之等ノ言葉ハ、其ノ書キタル漢字ヲ目當
テニ、接續詞トナシテ、別ニ其ノ言葉ヲ分ツニ及
バス、是ノ故ニ然レ共ノ如キハ、文字ニモ、種々ノ
言葉ヲ書キ分タル程ナレバ、一ノ言葉ニハアテラ
子共、何レモ前後ヲ結ビ付クル者ナレバ、合成接
續詞トスルモ、妨ゲナキナリ、

感歎詞

合成感歎詞

○感歎詞ハ、話シヤ文章ノ間ニ於キテ、喜ビ怒リ
 衰ミ樂ミ驚キ畏レ等ノ聲ヲ、不意ニ投ゲ入ル、
 ヲ云フ、故ニ之ヲ間投詞トモ云フナリ、即イデ、イ
 ザ・オ、ア、ア、等ノ如シ、其ノ外俗ニ用フル感歎詞
 ハ、誠ニ数多アリ、即ハア・ワア・オヤ等ノ類ナリ、
 ○種々ノ言葉ヲ、一ニ合ハセテ、感歎詞トスルア
 リ、アラ憾メシヤノ如シ、
 以上名詞ヨリ感歎詞ニ至ル迄、八通りニ分チ
 タル言葉ヲ、八品詞ト云フ、此ノ八品詞ノ内、何

レニモ、拘リ合ヒアル言葉アリ、之ヲ下ニ掲グ

冠詞

○冠詞或ハ枕言葉共云フ、是ハ其ノ目指ス言葉
 ヲ、云ヒ出ス為ニ、上ニ置ク言葉ニシテ、其ノ中ニ
 重ナル意味アルニハ非ザルナリ、比へバ、千盤破
 ル神ノ世片^{カク}絲^{イト}ノ寄リ々々等ノ如シ、是ハ神ト云
 ハンガ為ニ、神ヲ賛^{ホメ}ハル言葉ヲ、前ニ置キ、寄リ々
 ヲト云ハンガ為ニ、絲ヲ燃^ユルト云フ言葉ヲ假^カ
 ルナリ、尤是ハ近キ躰ノ文ニハ用ヒザルナリ、

掛ケ言葉

○ 拙ク言葉ハ、其ノ言葉ノ外ニ、別ニ一ノ意味ヲ
持タセタル者ナリ、即知ルモ知ラヌモ逢フ・ト云
フヨリ、其ノ逢フヲ假リテ、直ニ逢坂ノ關ト云ヒ
美濃尾張ト云フ中ニ、身ノ終リト云フ意ヲ持タ
セタル類ナリ、是モ當時ハ、餘リ用ヒザルナリ、

複語

○ 複語ハ、重子言葉ナリ、名詞代名詞ノ山々是々
ノ如キハ、皆複數ヲ顯ス為ニ用フルナリ、其ノ外
早々ハ回ル回ル又々ハ嗚呼ハ々々ハノ如キハ、唯意味ヲ
強ムル為ニ用フルナリ、

熟語

○ 熟語ハ、前ニモ度々舉ゲタル如ク、二三ノ言葉
ヲ合ハセタル者ナリ、比カチハ形ト云フ言葉ト作ツク
ルト云フ言葉トヲ合ハセテ、形ルト云フ言葉ト
ナシタル類ナリ、其ノ外無理・非道ノ類モ、音ニテ
讀ム上ハ、熟シテ一ノ言葉ト見做スベシ、

○ 文章論

起語結語

○ 文章ハ、已ノ思フ所言フ所ヲ記ス者ニシテ、二
三ノ言葉ヨリ、數萬ノ言葉ヲ合ハセタル者迄、総

ベテ之ヲ文章ト云フナリ、此ノ文章ニ、起語結語ト云フヲアリ、起語トハ言ヒ起ス言葉、結語トハ其ヲ止ムル言葉ナリ、比へバ、人ハ過ダト云フ文ノ人ハト云フハ、起ス言葉、過ダト云フハ、其ヲ止ムル言葉ナリ、

此ノ起語ト結語トニ、自然極リタル法アリテ、其ノ言ヒ起シ方ニ由リ、結ビ方モ従フテ異ルナリ、比へバ、人ハト起セバ、過ダト止ム、人ヤト起セバ、過ダルト止ムルガ如シ、猶下ノ章ニ、其ノ謂ヲ説カン、

第一第二第三ノ起語

○起語ニハ、ハモ徒ゾノヤ何コソト云フ、ハノ言葉遣ヒアリテ、結語ト睨ミ合フヲナリ、其ノ中ハモゾノヤコソハ、皆後詞ナリ、後詞ハ、皆起語ナレトゾノミ、結語ト物リ合ヒアル者ト知ルマシ、徒トハ、人過ダト云フ如ク、ハ共ヤ共ゾ共付ケヌヲ云フ、何トハ、誰カ如何ニノ如ク、疑ヒノ意ヲ持テタル言葉ノ総名ニシテ、誰カ過ダルト云フ様ナル類ナリ、
扱此ノハノ起語ヲ、部分ケスルキハ、第一ヲハモ徒トシ、第二ヲゾノヤ何トシ、第三ヲコソトス、之ヲ三條ニ分ツ所以ハ、其ノ結ビ言葉ニ、三ノ違ヒ

第一節
二節三
ノ結語

ヲナスヲ以ナリ、
 ○結ビ言葉ニ、三ノ違ヒアルト云フ謂ハ、取り摘
 ミテ云へバ、ハ・モ・徒ヲ結フ言葉ハ、語尾ニ字横行
 ノ音ヲ持ツ者ナリ、人ハ過グノ如シ、
 結グ言葉ハ、其ノ言葉ノ下ニルヲ添ス、人ヤ過グ
 ルノ如シ、コソヲ結グ言葉ハ、其ノ言葉ノ下ニレ
 ヲ添ス、人コソ過グレノ如シ、猶下ノ圖ヲ見テ之
 ヲ覺ルベシ、

起語結語ノ圖

ハ	モ	徒	ハ	モ	徒	グ	ノ	ヤ	何	コ	ソ
ウ	植	得	ウ	植	得	ウ	植	得	ウ	ウ	植
ク	過	來	ク	過	來	ク	過	來	ク	ク	過
ス	寄	任	ス	寄	任	ス	寄	任	ス	ス	寄
ツ	出	立	ツ	出	立	ツ	出	立	ツ	ツ	出
ヌ	重	尋	ヌ	重	尋	ヌ	重	尋	ヌ	ヌ	重
フ	媚	添	フ	媚	添	フ	媚	添	フ	フ	媚
ム	詠	止	ム	詠	止	ム	詠	止	ム	ム	詠
ユ	聞	見	ユ	聞	見	ユ	聞	見	ユ	ユ	聞
ル	流	乱	ル	流	乱	ル	流	乱	ル	ル	流

為三、讀ミト云フガ如シ、然レ共是ハ一度移シテ
モ、二度移シテモ、必終リニ至リテ、之ヲ結ブナリ、
即手習ヒスベシト結ベルガ如シ、

○略語トハ、上ノ言葉ヲ、助動詞ニテ結ブキ、或ハ
之ヲ省キテ、用ヒザルヲ云フ、比ヘバ、遊歩ヲ為ス
ハ運動ノ為ト云フ文ハ、運動ノ為ナリト結ブベ
キヲ、略シタルガ如シ、

○起結轉略ノ謂、前ニ擧ゲタルガ如クナレ共、初
學ノ覺リ易カラシ、為、短キ文ヲ下ニ擧ゲテ、其ノ
例ヲ知ラシム、

水氣ノ起多ク蒸騰シ轉テ、大陽ノ光ニ映ズル結

轉ガラ時ハ起虹ト為ル結虹ニハ起其ノ色起七

アリ、結上ハ起赤色ニシ轉テ、次ヲ紺色トス、結黃

色起之ニ次ギ、轉綠色起又之ニ次グ、結次ハ起青

色、略次ハ起紺色、略次ハ起紫色ナリ、結

變格

○變格トハ、起語ト結語ト、前ノ法ノ如ク、睨ニ合
ハザル者ヲ云フ、即ヤ何ノ起語ハ、何レモ第二ノ
結語ニテ、結ブベキヲ、第一ノ結語ニテ結ブヲ云
フ、比ヘバ、賜ヤ過ギタルト云フベキヲ、賜ヤ過ギ

タリト云ヒ、孰カ之ヲ命ズルト云フベキヲ、孰カ之ヲ命ズト云フガ如シ、

○音調論

緩急音

○緩トハ、言葉ヲ柔ク遣フナリ、即筭^{カニカキ}ヲカウガ
イ、書キテヲ書イテト云フガ如シ、急トハ、言葉ヲ
強ク遣フナリ、即涕^{ナク}ヲナンダ、取りテヲ取ツテ
ト云フガ如シ、

曲直音

○言葉ヲ出スニ、同聲ニテモ、其ノ儘真直ニ出ス

トト、曲ゲテ出スナリ、即橋ト箸^シト^ア雨ノ如シ、

熟語音

○二三ノ言葉ヲ熟シテ、一言葉トナシタル者ハ、
其ノ都合ニ由リテ、音ヲ濁リ、又ハ變ズルナリ、
即鬼瓦^{オニカワ}日本橋^{ホンシ}ト云ハズシテ、鬼ガハラ日本^ニハシ
ト濁リ、上書^{ウヘ}キ雨宿^{アメ}リ新板^{シン}ト云ハズシテ、ウハ書
キアマ宿^ヤリ新^{シン}パン^ント云フガ如シ、

漢字音

○漢字ニハ、一文字ニテ、漢音ト吳音トノ二ヲ持
チタル者多クアリ、比^ヒ先生^{センシヤウ}ノ生^{セイ}ハ漢音、養生^{イヤウシヤウ}

ノ生ハ吳音、經書ノ經ハ漢音、佛經ノ經ハ吳音ナ
ルガ如シ、

約音助音

○約音トハ、其ノ儘ニ遣フベキ言葉ヲ、或ハ縮ム、
或ハ省クヲ云フ、聞キ度クアリシヲ、聞キ度カリ
シト縮ム、持チテヲ、持テト省クガ如シ、助音トハ、
二ノ言葉ノ間へ、意味ナキ聲ヲ、助ケ入ル、ヲ云
フ、沖ツ波頃シモ、無クンバ、等ノ如シ、此ノ言葉ハ、
皆後詞ニ属スル者トス、

歌ノ調子

○歌ハ、文章ノ中ノ一端ニテ、其ノ言葉善ク調子
ニ合フヲ第一トス、日本ノ言葉遣ヒニテハ、五文
字ト七文字トノ句、善ク調子ニ合フヲナリ、故ニ
歌ハ、五文字七文字五文字七文字七文字ト、都合
三十一文字ニテ、作ルナリ、其ノ外長歌ニテモ、發
句ニテモ、又ハ世間ニテ謠フ所ノ、流行謠ノ類ニ
テモ、長キト短キトノ違ヒコトアレ、何レモ五文
字ト、七文字トヲ以、句調ヲナスナリ、但シ稀ニハ
字餘リトテ、五文字ヲ六文字トシ、七文字ヲ八文
字トスルコトアリ、多クノ歌ニ就キテ、善クママ考

へ見ルベシ、

日本小文典卷之下終り

明治九年八月七日
版權免許

著者 中根淑藏版

東京下谷仲徒士町
四丁目三十二番地

東京馬喰町二丁目一番地

發兌書肆 森屋治兵衛

